


★☆☆ 観光ガイド ☆☆☆

モデルコース上の観光スポット

**長楽寺の庚申塔 四臂青面金剛 (よんぴしょうめんこんごう)**




右の上手は剣、下手は棒状のもの、左の上手は戟状のもの、下手は縄索という武器を持ち、左右には中腰の二猿が膝に手を置き従っている。青面金剛は帝釈天の使者と考えられている。県の重要文化財。

**須賀湊の歴史～相模の恵みの集散地～**

須賀湊は、明治時代に鉄道ができるまで、特に江戸近郊と相模川流域の地域とを結ぶ舟運と海運の結節点としてにぎわっていた。同時に、江戸や伊豆、房総などから来る人々やそれらの地方からの様々な文化の入り口でもあった。特に江戸時代中頃には、大山に参詣する人が目立ち、遠方から船を使って須賀へ着き大山へ向かったルートがあったという。明治時代、須賀には約二百軒の魚屋があり、そのほとんどが行商だったといわれている。行商で魚を売る人たちは、ポテイと呼ばれていた。これは天秤棒で魚を担いで売り歩いた姿に由来するもので、ポテフリ（棒手振り）がなまったもの。彼らの商圏は広く、西は御殿場、東は戸塚、北は八王子から青梅あたりまでおよんでいたという。

**須賀湊 札の辻跡**




昔、須賀湊は物資集散に利用され栄えた。そのほぼ中心がこの碑の建っている十字路の付近であった。禁制などが書かれた掲示板が立つ場を高札場といい、これがあったので、後にこの付近を札場(ふだば)、その辻を「札の辻」と呼ぶようになった。

★☆☆ 観光ガイド ☆☆☆


モデルコース上の観光スポット

**村井弦斎公園**




明治34年の報知新聞に「20世紀の予言」という記事が掲載された。驚くほどの中率で100年後の世界を言い当てたこの記事の著者こそ村井弦斎(文久元年～昭和2年)である。代表作『食道楽』は10万部という大ベストセラーである。内容は600種を超えるメニューとその調理法、食材の見分け方や栄養学的効能など、さながら食に関する百科事典といえるものであった。明治37年、印税で現在の村井弦斎公園を中心とする地に1万6千坪余りの敷地を購入し、屋敷を構えた。菜園、果樹園、鶏舎などを設け、食材づくりの段階から「食道楽」の世界を実践した。弦斎邸には各界の著名人が集い、一流の料理や邦楽の演奏を楽しんだという。

**小平別荘跡の記念碑**



ここは日立製作所の創業社長小平浪平(1874～1951)の別荘のあったところ。浪平は少年時代より村井弦斎と親しく交際を続けており、弦斎の死後、所有地のうち5千坪の分譲を受け別荘を新築した。この別荘は昭和20年の空襲の際に焼亡してしまった。

携帯電話で乗りたいバスの待ち時間がわかります!



アドレス <http://dia.kanachu.jp/>  
QRコード

★問合せ 神奈川中央交通(株)バス案内センター  
0463-22-8833  
(平日9:00～17:25)

★参考文献・資料

- 湘南平塚観光マップ
- 平塚市観光協会 HP
- 平塚市郷土誌事典
- 平塚の文化財
- 平塚市 HP
- 歴史的文化遺産整備事業説明書
- 平塚・石仏めぐり -旧市内編-
- 須賀のみち たんけんマップ
- 須賀ものがたり
- 広報ひらつか

このリーフレットは、平成22年度開催の「まちづくりわいわい塾 路線バスでめぐる市内観光プランをつくろう!」の成果をもとに作成をしました。

発行 平塚市 まちづくり政策部 まちづくり政策課  
Tel. 0463-23-1111 内線2414

協力 東海大学 観光学部  
平塚市観光協会  
神奈川中央交通株式会社  
平塚市 経済部 商業観光課

時刻	平日	土曜	休日
14時	系統 13:33 53 分 16:16 16	系統 16:16 16 分 03:23 43	系統 16:16 16 分 03:23 43
13時	系統 13:33 53 分 16:16 16	系統 16:16 16 分 08:28 48	系統 16:16 16 分 08:28 48
12時	系統 13:33 53 分 16:16 16	系統 16:16 16 分 15:15 15	系統 16:16 16 分 15:15 15
11時	系統 13:33 53 分 16:16 16	系統 16:16 16 分 08:28 48	系統 16:16 16 分 08:28 48

系統	所要	運賃
平16 平塚駅南口(湘南海岸公園)	9分	170円
平15 平塚駅南口(龍城ヶ丘)	4分	170円

時刻	平日	土曜	休日
11時	系統 12:14 12 13 分 00:15 20 40 45	系統 12:14 12 13 分 00:15 20 40 45	系統 12:14 12 13 分 00:15 20 40 45
10時	系統 12:14 12 13 分 00:15 20 40 45	系統 12:14 12 13 分 00:15 20 40 45	系統 12:14 12 13 分 00:15 20 40 45
9時	系統 12:14 12 13 分 05:15 15 25 40 45	系統 12:14 12 13 分 00:15 20 40 45	系統 12:14 12 13 分 00:15 20 40 45

系統	所要	運賃
平14 平塚駅南口(高浜台)	9分	170円
平13 平塚駅南口(明神前)	5分	170円
平12 須賀港(長堤町)	5分	170円
系統 乗場		

平塚駅南口⇒須賀四ツ角  
※2011/1/17時点の時刻です。以後改正される場合があります。ご注意ください。

☆☆時刻表☆☆

路線バスでめぐる気軽なお出かけプラン

歴史と海辺ののんびり散策



平塚駅南側方面  
平塚市 まちづくり塾

★☆☆ モニルコース ☆☆☆


例えは・・・「あひさん」

10:00 ○『平塚駅南口』バス停発  
10:05 ○『須賀四ツ角』バス停着  
10:05 ○長楽寺・海宝寺・湘南潮来・須賀港の碑・札の辻の碑を見学  
11:30 ○須賀湊周辺の食堂で昼食  
12:30 ○平塚新港着  
12:30 ○平塚駅南口(龍城ヶ丘) 徒歩15分  
13:00 ○『平塚駅南口』バス停着  
13:00 ○長楽寺・海宝寺・湘南潮来・須賀港の碑・札の辻の碑を見学  
13:30 ○平塚新港着  
14:00 ○平塚駅南口(湘南海岸公園) 徒歩30分

★☆☆ 観光ガイド ☆☆☆


モデルコース上の観光スポット

**湘南潮来 ※平塚八景**




山中湖から発し、忍野八海の湧水・流域の諸川を合わせた流域115kmの相模川は、河口に至り川幅700m程となり相模湾に注いでいる。景観が茨城県の水郷潮来に似ているので「湘南潮来」と名付けられたという。

**平塚砂丘の夕映え ※平塚八景**



平塚市の海岸はちょうど相模湾の中央にあり、東の相模川、西の花水川の間約4kmほど。三浦半島、西は伊豆半島を、南は遠く大島まで、相模湾全体を見渡することができる。さらに、夕刻太陽が箱根連山に沈もうとして赤く染まった雲間からの夕映えは、神秘的な自然の芸術作品となっている。

**海宝寺**




天正七年(1579)、貞雲上人により京都知恩院直系の末寺として創建された。須賀という経済的立地と小田原北条氏の庇護とが相俟って寺運を増した。本尊は阿彌陀如来。当寺の十夜法要は南関東三大十夜の一つといわれた。また当時は須賀小学校(現港小学校)生誕の地でもあり、境内には「須賀小学校跡記念碑」もある。

★☆☆ 観光ガイド ☆☆☆


モデルコース上の観光スポット

**竜宮社**




地元ではリュウゴンサンと呼ばれている。海上安全や漁業の神として信仰を受け、現在も漁業者を中心に祀られている。祭りの日には、かつて芝居や映画の上映が行われ、大変賑やかであったという。

**散策路「浜辺のさんぽ道」**




ビーチパークと平塚新港を結び、太平洋に面した約0.6kmの散策路。途中には、富士山や伊豆大島など相模湾の景色を一望できる休憩施設「ビューポイント」も。

**高山樗牛の碑**



明治の文壇に輝かしい足跡を残した高山樗牛は、山形県鶴岡の人で、23歳のときに書いた歴史小説『瀧口入道』で有名になった。しかし、渡欧の前に発病し、32歳の若さで杏雲堂平塚病院で没した。

**扇松**



扇松海岸通りの黒松を通称扇松という。明治20年平塚停車場の開業以来、平塚海岸に別荘ができて、その頃の松の枝ぶりが扇のさまに似ているのでこう呼ぶようになったといわれている。この松は市の保全樹に指定されている。



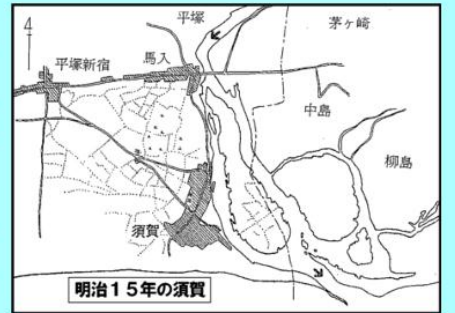
## 須賀のみちはどうして斜め??

須賀から平塚駅に通じる斜めの道は、明治20年に設けられた平塚駅と須賀湊を結ぶ道路として造られたかのような印象があります。しかし、明治15年の旧陸軍参謀本部の測量図によると、この斜めの道は既に出ていました。明治15年には平塚駅はまだ開業していません。従ってこの道は、駅との関係でできたわけではないようです。

一説によれば、この斜めの道は、徳川家康が市内中原に造営した中原御殿との関係で造られたと言われています。御殿が造営された頃(慶長元年)の須賀は、相模川の舟運と相模湾の海運が交差する、相模国有数の湊として重要視されていました。御殿の造営に必要な建築資材や堀を廻らすための土木用材は、おそらく津久井や七沢など丹沢山地から切り出され、イカダに組み込まれて相模川を須賀湊まで下り、中原に運ばれたと考えられます。

また、中原御殿は江戸幕府の草創期に臨時的な政治行為がしばしば行われた場所であり、このため家康は度々御殿に宿泊していたと言われています。従って、御殿での生活に必要な物資の大半も須賀湊経由で中原に運ばれたと考えられます。

つまり、この斜めの道は、中原御殿の造営と維持管理に伴う諸物資の調達のために、御殿と須賀湊をほぼ直線で結ぶ道として造られた、物流の道であったのです。(あくまで一説です)



## 魚屋さん・食堂マップ



- ① 魚忠(鮮魚)
- ② 大青(鮮魚)
- ③ 仙熊水産(鮮魚)
- ④ 長谷金本店(かつお節)
- ⑤ 魚三(鮮魚)
- ⑥ 久音(鮮魚)
- ⑦ 高基商店(水産加工)
- ⑧ 寛栄丸(シラス直売)
- ⑨ 内藤商店(水産加工)
- ⑩ 長谷竹商店(水産加工)
- ⑪ 丸八丸(シラス直売)
- ⑫ 佳栄丸(シラス直売)
- ⑬ あぶさん(魚料理)

平塚砂丘の夕映え

- 歩行ルート
- 🚌🚌 バス乗車区間
- バス停
- 観光スポット

この辺りは、堤防を歩きます。悪天候や波の高いときは、ご遠慮ください。